

忠生中学校だより

げんとう かぜ 原頭の風

—2025年度 第6号—



2025年10月15日発行

子どもの数は命の数～生徒が主役で
笑顔いっぱい光り輝く学校～

町田市立忠生中学校

校長 高橋 博幸



Tel 042 (791) 0821

Fax 042 (791) 6514



自分と未来は、変えられる！

校長 高橋 博幸

秋たけなわ、天高く馬肥ゆる秋、空は澄み清爽の気が満ちてくる時節を迎えました。しかし、台風の影響もあり、不安定な天気が続いております。「秋の空」という言葉があるように、天気が変わりやすいのもこの季節の特徴です。

さて、今月号は10月6日(月)の全校朝礼校長講話をご紹介します。挨拶とさせていただきます。

ここでお話するのも2学期の始業式以来です。その間、3年生は修学旅行で京都と琵琶湖に、2年生は移動教室で福島のブリティッシュヒルズに行ってきました。その両方で、旅行会社の方から言われた言葉が心に残っています。「忠生中の生徒さんは、皆さん気持ちのよい挨拶をしてくれます。また、時間を守って友達と楽しく行動してくれて助かります。」と、言われました。私は、とても嬉しくなると同時に、2・3年生の皆さんを誇らしく思いました。これからも忠生中の生徒の皆さんが、気持ちのよい挨拶ができて、よい行動であふれるような学校になるといいなと思いました。ただ、ちょっと失敗して後悔した人も一部いました。そのことは、しっかり反省して、次の成功につなげてほしいと思います。

そこで、今日のテーマは「他人と過去は変えられないが、自分と未来は変えられる」です。この言葉は一昨年の2学期の始業式でお話したので、3年生の中には記憶に残っている人もいます。

さて、私たちは生きていく中で、過去の出来事に後悔したり、他人の言動に対して不満を抱いたりすることがあります。しかし、それらに執着しても何の解決にもなりません。過去に失敗をしたとしても、その出来事そのものを消すことはできないのです。また、「他人が自分の事をどう思うか」や、「どのように行動するか」を完全にコントロールすることも不可能です。自分の力で他人を変えることは難しいし、過ぎ去ったこともどうしても変えることはできないのです。しかし、過去を振りかえり反省をすることによって、これから先の生活と自分自身は、自分の力で変えていけるのです。つまり、自分と未来は心がけ一つで変えることができるのです。そして、自分の行動次第で望む未来を実現できるのです。



例えば、「合唱コンクールで金賞をとりたい！」と思っているなら、今すぐクラスの人々と協力して、合唱の練習を始めることで未来を変えることができます。未来の自分が「金賞をとる」になるかどうかは、今日の自分の行動次第なのです。人間は学習することのできる動物です。反省して、同じ失敗を繰り返さないことが大切です。また今日、自分ができることを精一杯にがんばるだけです。

忠生中学校では、今月の21日(火)に合唱コンクールがあります。みなさんは、合唱コンクールに向けて音楽の授業に真剣に取り組んでいます。クラスで練習してきた「合唱」が「自分の宝物」となるのは、どんな時だと思いませんか？それは、一生懸命に心を込めて合唱した時です。いい加減な気持ちで歌った合唱は宝物にならないでしょう。自分たちが取り組んできたことが「自分の宝物」と思えるように、がんばってほしいと思います。こうした宝物をもっている人は、友達の良い所や自分のやってきた価値を素直に認めることができると思います。クラスの友達と協力して、心を込めて取り組んでください。皆さんのがんばりに期待しています。

【10月6日(月)の全校朝礼校長講話より】

◎ 修学旅行を終えて 【9月8日（月）～11日（水）】

今年度の修学旅行は、行き先が例年と異なる【京都・滋賀】というところから始まりました。その中で中学校生活最後の宿泊行事として、修学旅行を楽しみにしている生徒が多いことが最初のガイダンスの反応から伺うことができました。この緑学年の宿泊行事と校外学習では、時間を守ることができず、2年間大きな課題として解決できずにいました。修学旅行実行委員会でもこの課題を解決し、修学旅行を成功で終わるために、「一人一人が意識して行動してほしい」という思いから『知行合一 ～過去を未来で繋ぐ旅～』というスローガンが生まれました。実行委員の思いや取り組み、努力が広がるように3学年のほとんどの生徒が事前学習から意欲的に取り組みました。また行動班での行動計画、予定などを班員全員が協力して決めることができました。

修学旅行の3日間は、時間を意識して行動する生徒がほとんどでした。トラブルがあった際にも、班長を中心に迅速に対応・報告をし、対処しました。

修学旅行後に実行委員が行った事後アンケート集計では、「きまり・時間を守ることができた」と答えた生徒が9割を超えました。実行委員の生徒の取り組みに対しての感謝の声がとても多くあり、仕事への充実感とともに修学旅行を終えることができました。

今後の学校生活でも、時間の意識ができると最上級生としての姿を後輩に見せることができます。この後の合唱コンクール、入試、卒業式も大成功を収められることを期待しています。

（文責：石澤 政司・片山 雄太）



◎ 小中連携連絡会～忠生中学校区の先生方の交流～

9月17日（水）に山崎小学校で小中連携連絡会を開催しました。忠生中学校や忠生小学校、図師小学校、山崎小学校の校長先生や先生方が山崎小学校の5校時の授業を参観しました。

5校時が終わり、山崎小学校の児童の皆さんが下校した後に、4校の先生方は、各教科や領域等のグループに分かれて、情報交換や指導方法の話し合いを行いました。この分科会で指導の連続性や、整合性を図ることにより、効果的な継続指導が実践できます。小中連携連絡会によって、忠生中学校区の校長先生や先生方の信頼関係を深めることができました。忠生中学校区の先生方は「チーム忠生」で子どもたちを育ててまいります。引き続き保護者や地域の皆様方のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



分科会の様子

◎ ブリティッシュヒルズ移動教室を終えて 【9月21日（日）～23日（火）】

ブリティッシュヒルズに行く前は、「英語を勉強しに行くのか…。」「3日間も英語だけでコミュニケーションが取れるかな…。」「大丈夫かな？」と不安の色を隠せない人も多かったようですが、実際に行ってみると、「すごく楽しかった!」「帰りたくなかった!」「また行きたい!」「本物のイギリスに行きたい!」という風な感想を書してくれた人がほとんどでした。

英語に関しても、日々の英語の授業ではなかなか味わうことのできないリアルなコミュニケーションを通じて、1日目よりも2日目、2日目よりも最終日、と先生たちの言っていることが段々と理解できるようになり、自分自身の気持ちも英語で伝えられるようになったようで、とても充実した3日間となりました。また、「次に何をするのか」「どこに行くべきなのか」を常に考えながら、一人一人が自主的かつ積極的に行動することができました。

集団としても、周囲と声を掛け合いながら協力して取り組むことができました。中学校生活初めての宿泊行事は、「成功した!」と言えると思います。今回の行事で身に付けた【積極性】【自主性】【集団力】【英語学習へのモチベーション】を日々の生活でも生かしていきましょう。

来年度の修学旅行が今回よりも更に良い行事となることを期待しています。 （文責：八幡 勇司・中山 文）



◎ 生徒会役員選挙 ～みんなで、より良い忠生中をつくろう!～

10月3日（金）5校時にアリーナで全校生徒が集まり、生徒会役員選挙、立会演説会が行われました。厳粛な雰囲気の中、生徒会長や副会長候補、本部役員の立候補者7名の皆さんが、堂々とそして明確に、忠生中学校をさらに良い学校にするための公約を舞台上で熱く語ってくれました。また、応援者の皆さんの応援演説も、立候補者を応援する理由が分かりやすくとても良かったです。聞いている生徒のみなさんの態度も真剣で、素晴らしい立会演説会でした。

いよいよ生徒会の新体制がスタートします。委員長をはじめとする活動の中心は2年生が担うことになり、1年生もこの半年の経験を活かして、本格的に生徒会の活動に参画します。また、3年生は引き続き生徒会の一員として活動しながらも、これまで培ってきた自治の力を後輩たちに引き継ぐときがやってきました。生徒のみなさんは一人ひとりの力を合わせて、生徒が主役で笑顔いっぱい光り輝く学校をつくっていきましょう。期待しています。



◎ 9組 宿泊校外学習を終えて【10月9日（木）～11日（金）】

三浦方面での校外宿泊学習を終えた生徒たちの表情には、達成感と充実感があふれていました。出発前は、「うまく協力できるかな」「時間を守れるかな」と不安を口にする姿もありましたが、実際に行ってみると、「とても楽しかった!」「班の仲間と協力できてうれしかった!」「もう一泊したかった!」という感想が多く聞かれました。

海南神社では、5月から練習を重ねてきたぶち合わせ太鼓の演奏を披露しました。これまでの努力の成果を発揮し、魂のこもった力強い演奏に、地域の方々からも大きな拍手が送られました。仲間と心をつなげて太鼓を打つ姿はとても立派で、感動的なひとときとなりました。また、獅子舞が登場する三浦の神楽も見学し、迫力ある舞と太鼓の響きに圧倒されながら、地域に伝わる伝統文化の魅力を感じ取ることができました。

海辺での地引網体験では、生徒たちが力を合わせて網を引き、大漁となりました。魚が次々と上がるたびに歓声があがり、みんなの笑顔がはじけました。自然の恵みや漁業の大変さを体験的に学ぶ貴重な時間となりました。さらに、八景島シーパラダイスでは、イルカやセイウチなどによるアニマルショーを見学しました。息の合った演技やダイナミックなジャンプに会場全体が盛り上がり、生徒たちも大きな拍手を送りながら楽しんでいました。

宿舎では、「自分のことは自分で行う」ことを心がけ、班の仲間と声を掛け合いながら協力して生活する姿が見られました。今回の校外学習を通して身に付けた【協力する力】【責任感】【思いやり】【主体性】を、今後の学校生活や連合マラソン大会や合唱コンクール等の行事に生かしてほしいと思います。

（文責： 野崎 健）



◎ 町田市秋の花壇コンクールで「優良賞」を受賞！

本校の正門を入ると、すぐに大きな花壇があります。花壇の綺麗な花々が生徒の登下校を見守っています。この度、園芸委員会の皆さんと「花＋花サークル（地域協力者）」の皆様が春に苗付けをしてくださった花壇が、「2025年度 町田市秋の花壇コンクール 学校花壇の部」で、「優良賞」を受賞しました。園芸委員の生徒の皆さんと「花＋花サークル（地域協力者）」の皆様、本当にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

本校は「花＋花サークル」をはじめ、たくさんのボランティアの方々に支えられています。生徒の皆さんは、そのことをよく理解し、落ち着いた気持ちで勉強やスポーツに励み、力を伸ばしていくことが、こうした方々の期待に応える一番の方法だと思います。また、感謝の気持ちをもって学校生活を送り、これからも、学校施設や学校の周りの環境を大切にしていきたいと思っています。



◎ 合唱コンクール迫る！スローガンは『一音心奏 ～ 星座のような結束を ～』

10月21日（火）に今年も相模女子大学グリーンホールをお借りして合唱コンクールを実施いたします。今年の合唱コンクールのスローガンは、『一音心奏 ～ 星座のような結束を ～』です。このスローガンには、心を込めて一つ一つの音を大切に奏でるために、星座のような結束をしようという思いが込められています。

さて、合唱コンクールの本番を目前に控え、各クラスの練習も一段と熱を帯びてきました。ハーモニーだけではなく、取り組む姿勢も年々レベルアップしています。今年はさらにその上を目指してほしいと思っています。



目指す合唱コンクールの姿は、「歌う人と、聞く人が一体となること」つまりグリーンホールで一つになる合唱コンクールです。コンクールですから「他のクラスより、少しでも良い合唱をしたい」という気持ちがあります。競い合うことでより良い合唱が生まれます。これは素晴らしいことですが、これに加えて、他のクラスの合唱の良さを認め、お互いに「聞き合うこと」を意識してほしいです。そうやって全校生徒の力で合唱コンクールという一つの芸術作品をつくりあげてほしいと願っています。当日は生徒の皆さんの熱のこもった合唱、心をつににしたハーモニーを楽しみにしています。

日 時 10月21日（火） 午前10時40分～午後3時40分（受付開始 10時20分）
会 場 相模女子大学グリーンホール（小田急線相模大野駅）

◎ 部活動 ～忠生中学生、活躍してます～ （敬称略）

☆剣道部

東京都中体連第7ブロック秋季剣道大会

女子団体の部 準優勝 都大会出場

N. Y (2-1)	・	Y. K (2-2)
I. K (2-3)	・	S. K (2-3)
F. D (2-5)	・	I. H (1-1)
S. I (1-4)		



町田市民スポーツ祭剣道大会

中学女子の部 第3位

N. Y (2-1)

中学男子の部 敢闘賞

H. S (2-2)



☆バドミントン部

町田市中学校バドミントン新人大会

女子シングルス 優勝

M. S (2-4)

